



農林水産大臣賞

ぼくの家の新まいぎょうじ

愛媛県今治市立上朝小学校二年

渡邊 廉

「れん、火ふき竹もつてきて。」

あきの新まいが家にはこばれてきたさいしよの
日よう日は、まい年家ぞくで新まいをつかって、
飯ごうすいさんをします。

ぼくが二さいの時に、じいちゃんが竹をきって、
ぼくせんようの火ふき竹を作ってくれました。は
ん合水さんのかまもじいちゃんの手作りです。飯
ごうすいさんにはぼくの火ふき竹がないと、おい
しいごはんがたけません。

ごはんをあらうのはお母さんのしごと。お母さ
んこだわりのあらいかた。おこめを水に三十分ひ
たしておきます。

じいちゃんが飯ごうに火をかける前に、赤土を
飯ごうにぬります。こうすればススがおちやすい
そうです。いよいよぼくの出ばん。火かげんはと
てもむずかしく、お父さんと時間をはかりながら

強火、よわ火のちようせつをします。火のちかく
までかおをちかづけるので、かおがまつ赤になっ
て、口のまわりは火ふき竹のあとがしつかりのこ
ります。

みんな新まいがたけるのを、いまかいまかた
のしみにしています。ばあちゃんははたけででき
たやさいをつけものにして、できたたくさんのつ
けものをきざみます。弟と妹は、みんなのおさら
をならべます。じいちゃんは七りんですみをおこ
しおいしそうなおいのけむりをたくさん出しな
がらサンマをやいてくれます。ごはんをむらして
いる時間がぼくにはとても長くかんじます。ふた
をあけると、真っ白なゆげがいきおいよく空にむ
かって出て、中のごはんがピツカピカにひかって、
おこめがせのびしているようなすがたを見ると

「おっ、おお。」

しぜんにかぞくみんなが声をそろえました。

あつつあつの新まいをみんなで

「せいひの。」

でいっしょに一口。家ぞくみんなとってもいいえ
がおです。